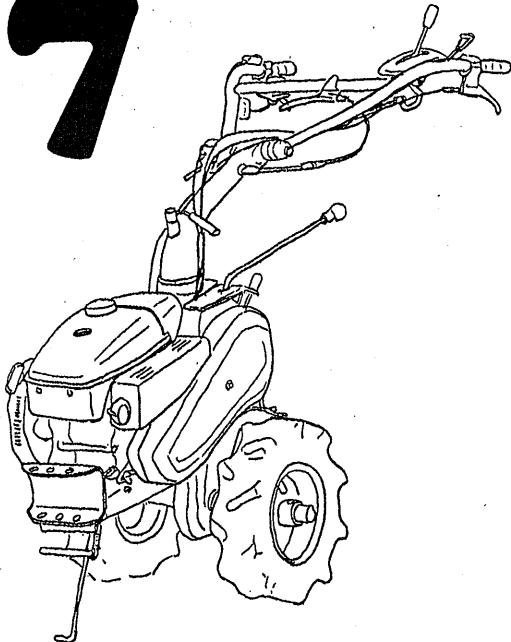


ヘルパー号管理機

取扱説明書

KK6
KK7



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

はじめに

このたびは本製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は、製品の取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて充分理解され、正しい取扱いをしてくださる様お願いいたします。又、管理作業機を他の人にお貸し出しされる場合は、この取扱説明書も併せて貸し出していただき、正しい取扱をしていただくようご指導をお願いいたします。

安全作業のポイント

- ◎安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を充分理解し、正しい取扱をすることが基本となります。
- ◎この取扱説明書では、解くに重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。
必ずお読みいただいて事故のない楽しい作業をして下さい。

△危険…その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

△警告…その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

△注意…その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを見示します。

取扱上の注意…その警告文に従わなかった場合、機械の損傷を起す恐れのあるものを示します。

管理機の使用目的・使用範囲

本製品は農業用管理作業機です。畑や圃場内の管理作業をご使用ください。
使用目的以外の作業や、改造は絶対にしないこと。

目次

安全に作業するために	1
警告ラベルとその取扱い	6
サービスと保証について	9
各部の名称	10
上手な運転のしかた	11
1. 運転の準備	11
2. エンジンの始動	13
3. 操 作	14
4. エンジンの停止	14
こんなときどうする	15
1. ミッションケースのオイル交換	15
2. エンジンオイルの交換は	15
3. Vベルトの張りの調節	15
4. ハンドルの高さ調節	15
5. 緊急停止スイッチ	17
6. PTOキャップの取付	17
7. 長期格納の仕方	17
仕様・諸元	18

▲ 安全に作業するため

管理機の取扱いは正しく、ちょっととした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で能率的な作業を行うために、次のことをお守りください。



警告

こんなときは運転しない

- 1. 体の調子の悪いとき
- 2. 酒を飲んだとき
- 3. 妊娠しているとき
- 3. 16才未満の人

(守らないと)

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



警告

作業に適した服装

- 1. はち巻・首巻・腰タオルは厳禁
- 2. だぶつきのない服装
- 3. ヘルメットなどの防護具の着用

(守らないと)

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する。

取扱い方法を説明し、使用前に取扱い説明書を必ず読むように指導してください。

(守らないと)

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります



警告

機械の改造禁止

純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取り付けないでください。

機械を改造しないでください。

(守らないと)

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



注意

点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

定期の点検・整備をかならず受けてください。

(守らないと)

事故・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。

⚠ 安全に作業するために



警告

ロータリー作業ではダッシュに注意
土が硬かったり石の多い場所ではロータリーをゆっくりと
地面に降ろして下さい。回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に
飛び出す（ダッシュ）ことがあります。

（守らないと）

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告

ハウス内での作業は換気を充分にする。
排気ガスが充満しないように充分換気を行って下さい。

（守らないと）

排気ガス中毒を起こし、死亡することがあります。



警告

子供を近付けない
子供には十分に注意しロータリに乗せたり
近付けないようにして下さい。

（守らないと）

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告

バック耕禁止
管理機のハンドル正位置でロータリーが作業者の
直前になるような後進作業は行わないで下さい。
バックけん制装置のあるものは必ず取付けて下さい。

（守らないと）

転倒したりして死亡事故や重大な障害を負う危険があります。



警告

ロータリーカバーの下に足を踏み入れない。
ロータリーが回転しているときにロータリーカバーの下に手足を
入れて回転部に触らないで下さい。

（守らないと）

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

後進する時はハンドルの跳ね上がりに注意
後進する時はハンドルが跳ね上がり足元ガロータリー爪軸に
近付き大変危険ですハンドルを押さえて後方を確認し速度を
低速にして主にクラッチはゆっくりと操作して下さい。

（守らないと）

足がロータリーに巻き込まれたり、体が障害物との間に
はさまれたりして死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。

▲ 安全に作業するために



警告

点検・整備は平坦な場所で行って下さい。

機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で

タイヤに輪止めをして行って下さい。

（守らないと）

機械が転倒するなど、思わぬ事故を招く恐れがあります。



警告

点検・整備中はエンジン停止。

点検・整備・修理・または掃除を行うときはエンジンの

回転を停止してください。

（守らないと）

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

カバー類は必ず取り付ける。

点検整備などで取り外したカバー類は必ず元通りに

取付けてから作業してください。

（守らないと）

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

下にもぐったり、足を入れない

ロータリーの点検・整備をするときは、下にもぐったり

足を踏み込んだりしないで下さい。

（守らないと）

ロータリーが下がったとき傷害事故を招く恐れがあります。



危険

燃料補給、注油時は火気厳禁。

エンジンを停止し、くわえタバコ、裸火照明は

絶対にしないこと。

（守らないと）

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告

爪に巻き付いた草などを取り除くときは

管理機のエンジンの回転を停止する。

（守らないと）

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。

▲ 安全に作業するため

▲ 危険 燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る。
燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた
燃料をきれいにふき取ってください。

(守らないと)
燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。

▲ 警告 排気ガスには充分に注意する。
締め切った室内ではエンジンを始動しないでください。
エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむをえず
屋内で始動する場合は充分に換気してください。

(守らないと)
排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。

▲ 注意 マフラーの高温に注意
運転中及びエンジン停止直後のマフラーは高温です
触れないでください。

(守らないと)
ヤケドをする恐れがあります。

▲ 警告 マフラー、エンジン周りのゴミは取り除く
マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラクズ、燃料が
付着していないか毎日作業前に点検してください。

(守らないと)
火災事故を引き起こす恐れがあります。

▲ 警告 坂道、アユミ板の上では変速禁止
適正な速度段を選択し、坂道やアユミ板の上では
主クラッチを切ったり変速をしないでください。

(守らないと)
事故を引き起こす恐れがあります。

▲ 警告 運搬は天井のない車を使用する。
運搬は荷台に天井のない車を使用し、後退するときは
後方に注意し低速で行ってください。

(守らないと)
ハンドルと天井の間などにはさまれて事故を引き起こす
恐れがあります。

▲ 安全に作業するため



警告

作業機を装着するときは、
作業機の取扱い説明書を読む

作業機を装着するときは、事前にかならず作業機の
説明書を良く読んで理解して下さい。

(守らないと)

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

作業機の着脱は平坦な場所で行う。

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行って下さい。

夜間は適切な照明をしてください。

(守らないと)

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

溝、あぜ越えは、アルミ板を使用する
ほ場に入るとき、溝、あぜを渡るとき、軟弱な所を通る時は、
幅、長さ、強度のあるアルミ板を使用してください。

(守らないと)

転倒やスリップによる事故を起こす恐れがあります。



警告

積み降ろしは、上りは前進、下りは後進で
丈夫な、すべり止めをしたアルミ板を確実に固定し、上りは
前進、下りは後進でロータリーの爪等を引っ掛けないように
注意し周囲に人がいないことを確かめ低速で行って下さい。

(守らないと)

転落などの事故を引き起こす恐れがあります。



注意

シートは機械が十分に冷えてから掛ける
機械にシートを掛ける場合は、マフラー・エンジンが
充分冷えてから掛けて下さい。

(守らないと)

火災事故を引き起こす恐れがあります。

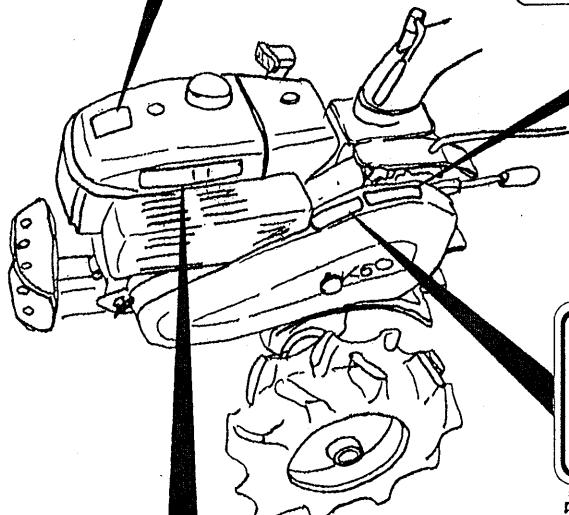
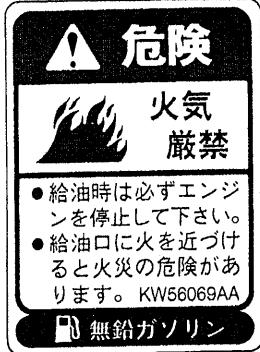
☆本製品の使用目的

本製品は農業用の管理作業機です。ほ場での管理作業をご使用下さい。
使用目的以外の作業や改造は絶対にしないで下さい。

⚠ 安全に作業するため

警告ラベルとその取扱い

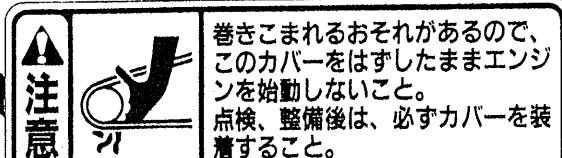
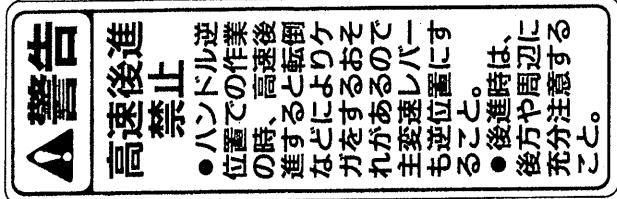
品番KW56069AA



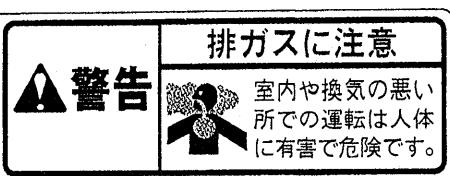
【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。

品番222540000552000



品番236100000452000



品番KW56070AA

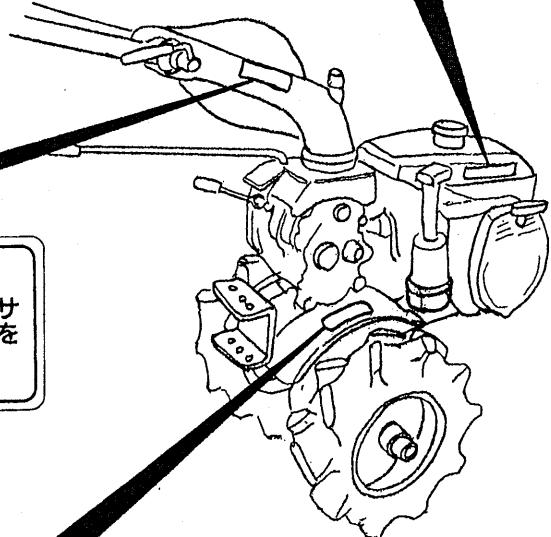
※この頁に表示のラベルは全て縮少されています。

⚠ 安全に作業するため

⚠ 注意

- 取扱説明書をよく読んで、正しい取扱いをし、安全な作業をすること。
- エンジンを始動する時は、主クラッチレバーを「切」にすること。
- 積み降ろし、ほ場の出入り、坂道などでは遅い車速で運転すること。
- 作業中は、周囲に人を近づけないこと。後進時は後方を確認すること。
- 点検、整備をする時は、必ずエンジンを停止すること。

品番 236100000451000



⚠ 注意

サイドクラッチ

ハンドルを逆位置にする時は、サイドクラッチワイヤーの左と右を入れ替えること。
入れ替えないで運転すると危険です。

品番 222540000553000

K60S, K70SNのみ、K60には貼って
ありませんのでご注意ください。

注意



PTO軸を使用する時、巻き込まれるおそれがあるので、回転部にカバーをすること。
使用しない時はPTOキャップを付けること。

品番 236100000453000

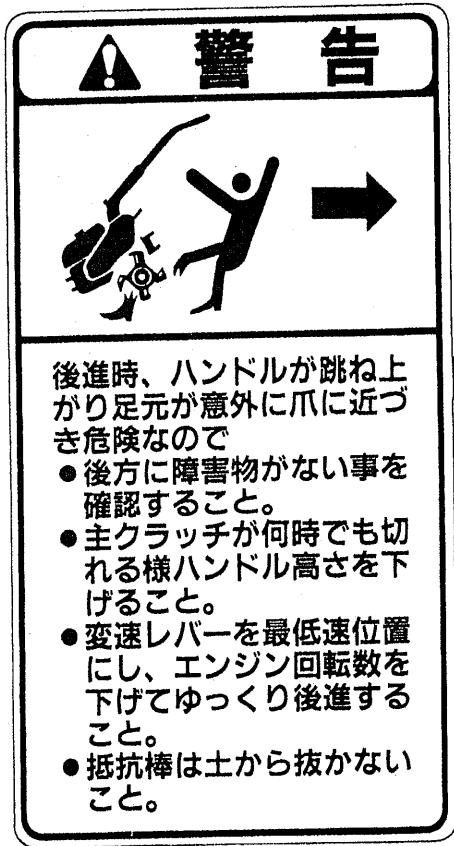
*この頁に表示のラベルは全て縮少されています。

⚠ 安全に作業するため

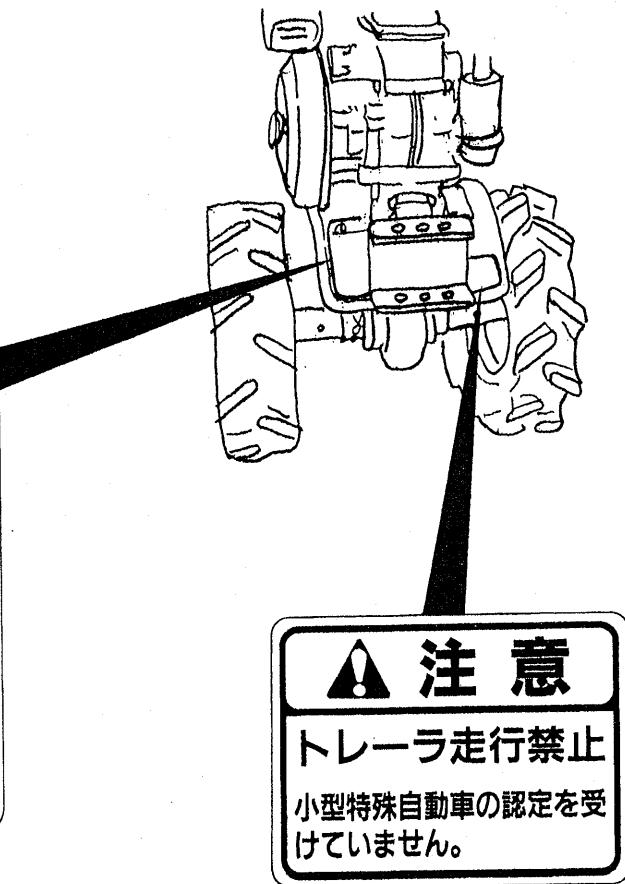
警告ラベルとその取扱い

【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。



品番 222540000555000



品番 222540000551000

※この頁に表示のラベルは全て縮少されています。

サービスと保証について

保証書について

お客様が保証修理を受けられる場合に必要になるものです。
よくお読みになって大切に保管してください。

■アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに、点検処置してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店又は直接当社にご連絡ください。

その際に連絡していただきたい内容

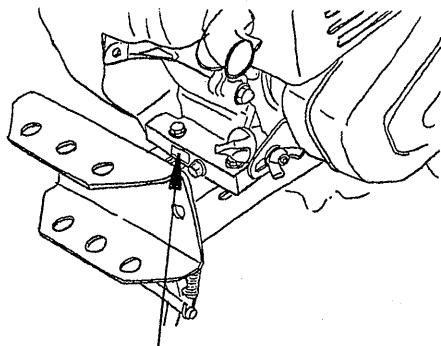
■管理機の型式名

■管理機の製造番号

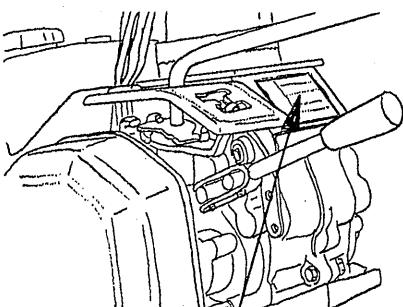
■エンジンの型式銘と製造番号

■故障内容（できるだけ詳しく）

- どんな作業をしていましたか
- どのくらい使いましたか
(アール、又は時間)



エンジンの
型式銘と製造番号



管理機の
型式と製造番号



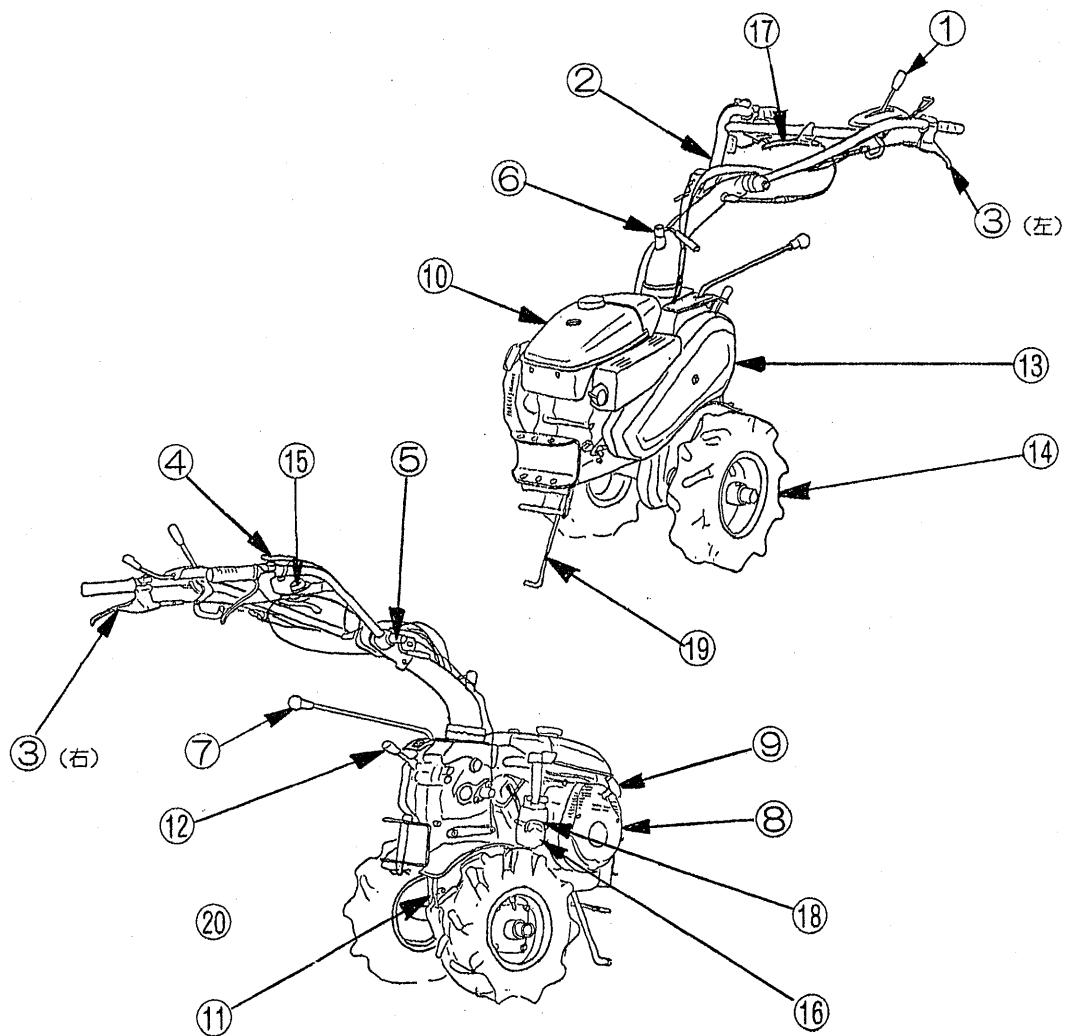
警 告

機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。改造した場合や、取説に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

各部の名称

1. 主クラッチレバー
2. ハンドル
3. サイドクラッチレバー
4. スロットルレバー
5. 上下調節レバー
6. 左右回動レバー
7. 主変速レバー
8. エンジン
9. リコイルスターター
10. 燃料タンク

11. ミッションケース
12. 副変速レバー
13. ベルトカバー
14. 車輪
15. エンジン停止スイッチ
16. 燃料コック
17. ハンドル上下調節レバー
18. エアクリーナー
19. スタンド
20. 後進けん制装置



上手な運転のしかた

1. 運転前の準備

① ボルト・ナットの点検

●エンジン・ホイールハブ・ハンドルなどの各部取り付けボルト・ナットの締付けを点検します。

② 給油・注油

●各給油個所には工場から出荷のときオイルが入れてありません。給油・脂表に従って給油します。



警 告

☆給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

☆燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

☆前スタンドを立て機械を安定させて点検してください。

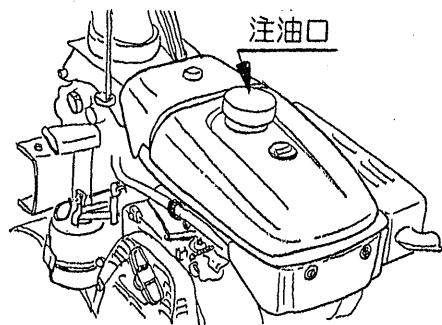
☆燃料が規定量以上給油されていないか確認してください。

《給油・脂表》

注油個所	油種	所要量	交換時期
ミッションケース	ギヤオイル SAE 90#	2. 4ℓ	毎日点検50時間毎交換 (新車20時間で)
クランクケース	エンジンオイル 春一秋 30# 冬一 20#	KK 6-0.7ℓ KK 7-0.9ℓ	毎日点検50時間毎交換 (新車25時間で)
エアークリーナ	エンジンオイル	規定線まで	毎日点検50時間毎交換
ホイルチューブと 車軸の間	グリース	適量	毎度使用前塗布
主クラッチレバー軸	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油
テンションアーム	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油
スタンド	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油
主変速レバー軸	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油
ワイヤ、レバー類	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油
その他摩擦摺動部	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適量	毎日注油

上手な運転のしかた

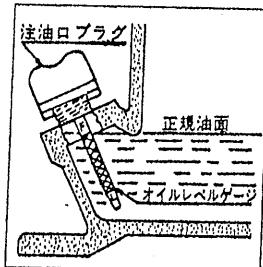
- ①エンジンの燃料タンクに燃料を入れて下さい。
必ずこしきを使って下さい。(写真3)
規定量……3. 5ℓ



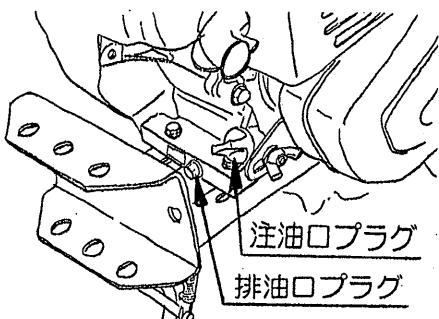
- ②エンジンオイルを入れて下さい。
(写真4)

エンジンオイル
春一秋……30# 又は10W-30
冬……………20# 又は10W-30

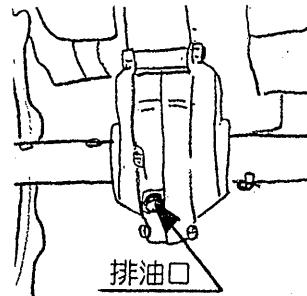
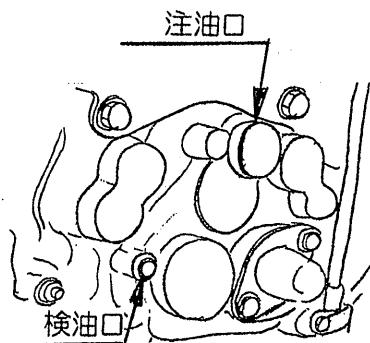
規定量…… KK6-0. 7ℓ·
KK7-0. 9ℓ·



- エンジンを水平にして正規油面まで補給
- 油量は注油口プラグをねじ込まないでチェックする。

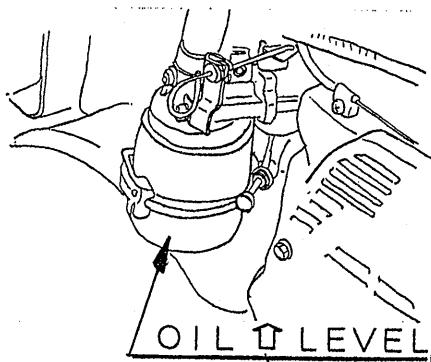


- ③ミッショングにオイルを入れて下さい。
検油口よりオイルが出るまで入れて下さい。(写真5)
規定量 SAE90#……2. 4ℓ



- ④エアークリーナにオイルを入れて下さい。
(写真6)

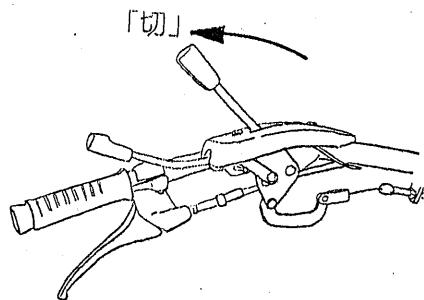
・エンジンオイル
・規定量……OIL ♪ LEVEL しまで



上手な運転のしかた

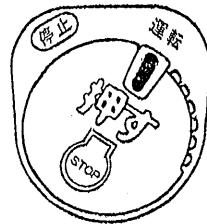
2. エンジンの始動

- 1) 主クラッチレバーを切になっているか確認して下さい。

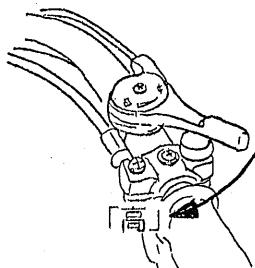


- 2) 主変速レバーも中立にして下さい。

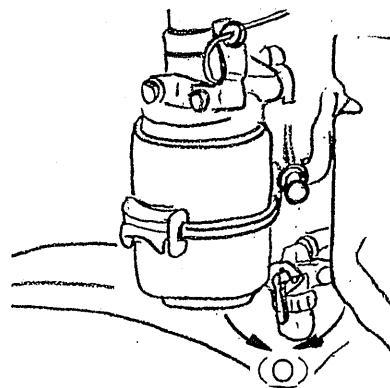
- 3) エンジン停止スイッチを押し込んで右（時計回り）に回して運転の位置にする。（詳しい説明は P 17 参照下さい。）



- 4) スロットルレバーを「高」の位置にして下さい。



- 5) 燃料コックを (O) にして下さい。

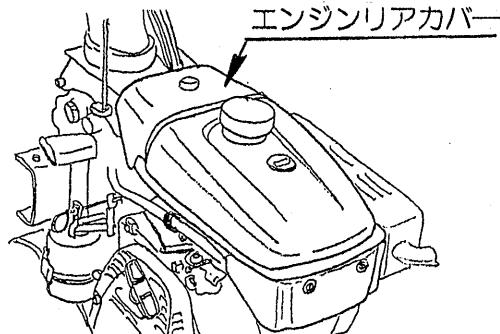


- 6) チョークレバーを閉じて下さい。
エンジンが暖まっている時はその程度により半開又は全開にします。

- 7) リコイルスターターを勢いよく引いて下さい。引いたまま手を放さずに静かに戻して下さい。

- 8) 始動したら回転の調子を見ながら、
チョークレバーを徐々に全開にして
2~3分暖気運転して下さい。

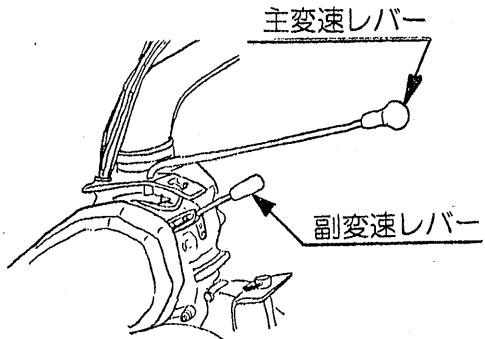
- 9) 始動困難な時はエンジンリアカバー
を取り外し、点火栓を抜いてスタータ
ーを2~3回引いてシリンダー内の
燃料をだしたり、点火栓の火花がで
るか点検して下さい。



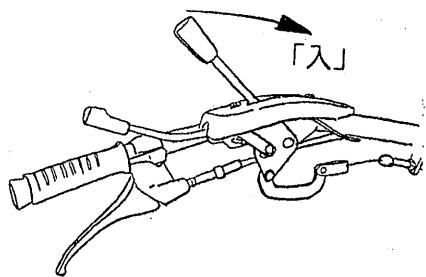
上手な運転のしかた

3、操作作

1) 作業に適した速度になる様に主変速レバーと副変速レバーを操作して下さい。



2) 主クラッチレバーを徐々に「入」にして下さい。



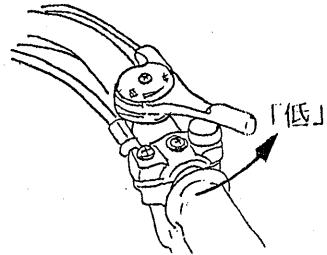
3) 走行中の方向転換はサイドクラッチで行って下さい。

警 告

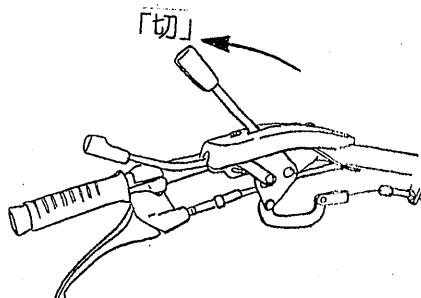
サイドクラッチレバーを操作するときはエンジンの回転を低速にしてから行って下さい。特に高速の時は急旋回しますので充分注意して下さい。

4、エンジンの停止

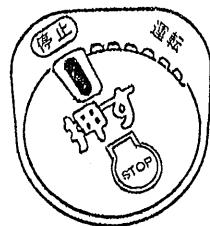
1) スロットルレバーを「低」の位置にして下さい。



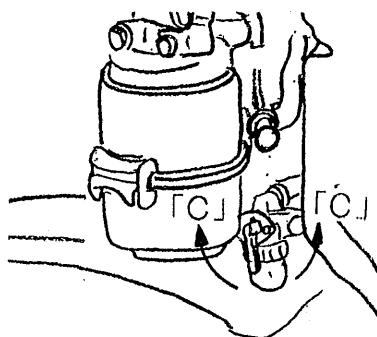
2) 主クラッチレバーを「切」の位置にして下さい。



3) スイッチを押して「停止」の位置にして下さい。



4) 燃料コックを「C」にして下さい。



こんなときどうする

1、ミッションケースのオイルの交換は
年1回、SAE 90 #を規定量交換して下
さい。

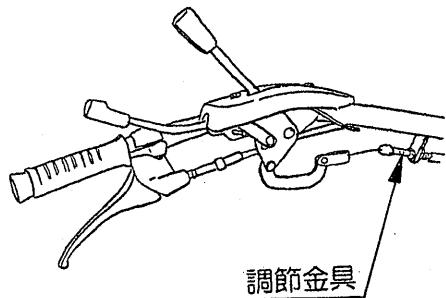
規定量………2. 4ℓ

2、エンジンオイルの交換は
初回は20～30時間後、その後は
100時間毎使用に規定量交換して
下さい。

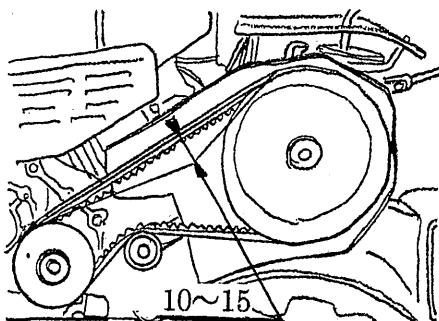
規定量 KK6—0. 7ℓ
 KK7—0. 9ℓ

3、Vベルトの張りの調節

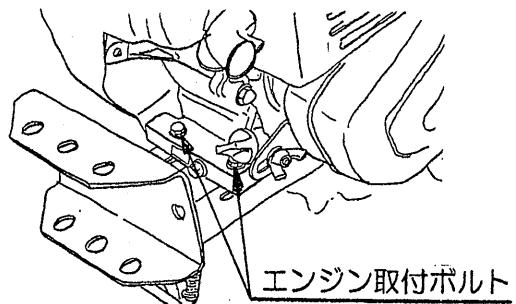
(1) ワイヤーによる調節は
ワイヤーの調節金具で行って下さい。



・ベルトを張った状態で張り側を指で
押して10～15mm位たるむ位が
適当です。



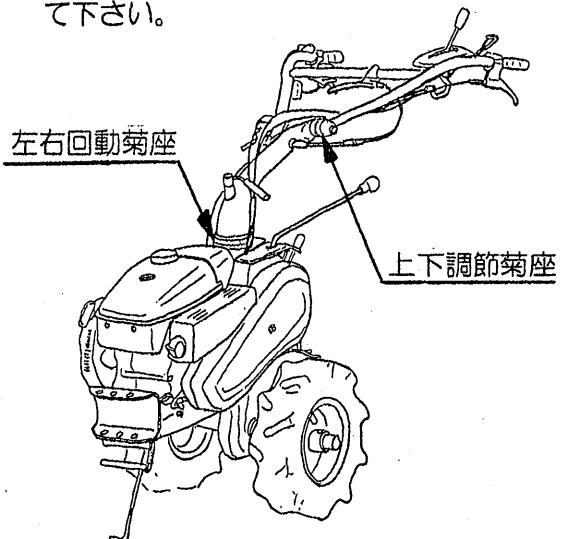
(2) エンジン移動による調節は
エンジン取付ボルト4本をゆるめ、エ
ンジンを前後に移動して行います。



4、ハンドルの高さ調節

(1) 標準時(ハンドルが後側)

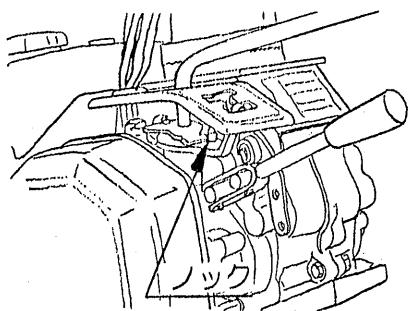
ハンドルは菊座式のため、上下、左右共
自由に調節できますので作業内容、身長
に合せ調節して下さい。この時ハンドル
上下調節レバーの調節は中間の穴にし
て下さい。



(2) ハンドル回動時(ハンドルエンジン側)
作業内容、身長に合せハンドルを上下に
調節する時はハンドル上下調節レバー
の調節はハンドルを1番下に下げた穴
にして菊座をセットして下さい。

こんなときどうする

(3) ハンドルを回動させた場合は、主变速レバーをNの位置にし、反対側に移動させてレバーは安全装置のノックに合せて完全に差込んで下さい。

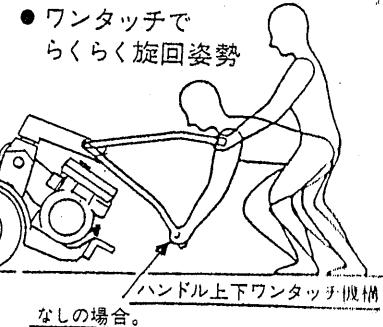
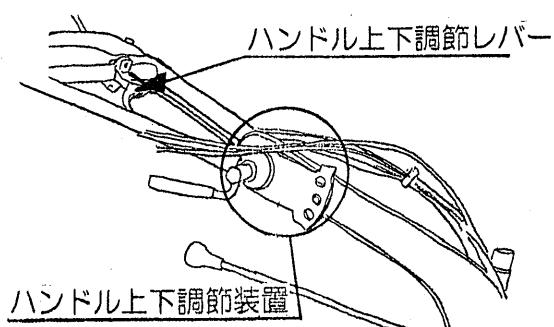


注 意

ハンドル回動の場合は、指示銘板の矢印方向のみ行って下さい。

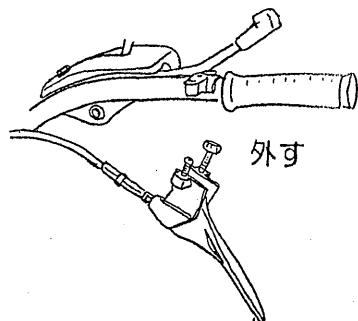
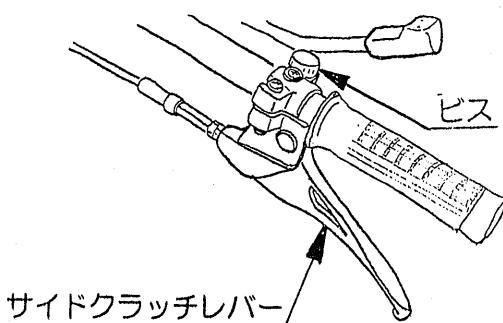
(5) ハンドルの上下調節装置

ハンドルがエンジン側にあるときは極端に低く下げ、身体を折り曲げ無理な姿勢にならなければなりません。
この機械はハンドル中央のハンドル上下調節レバーを握りハンドルを高くセッタすると無理な姿勢になることもなく楽に方向転換できます。



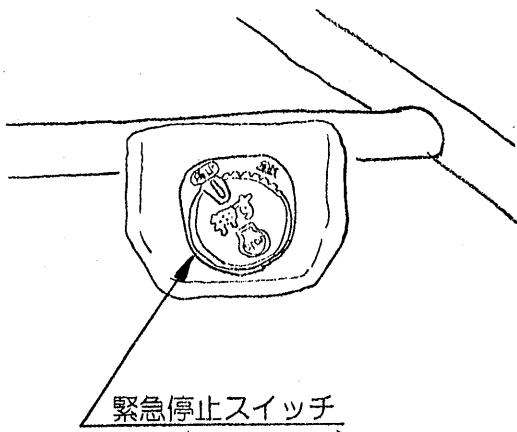
(4) サイドクラッチレバーの入替

ハンドルを前後180°回動させた時はサイドクラッチの作動が左右逆になってしまいます。こんなときはサイドクラッチレバーを左右入替えます。レバーはビス止式になっていますので、手で簡単に入替できます。レバーのビスは右が「白色」左が「黒色」になっています、元に戻すときは間違ないようにして下さい。



5、緊急停止スイッチ

(1) ハンドル中央部に設けられた赤いボタンが緊急停止のスイッチです。緊急の場合にすばやくたたくように押してください。スイッチが「停止」の状態になりエンジンの回転が停止します。

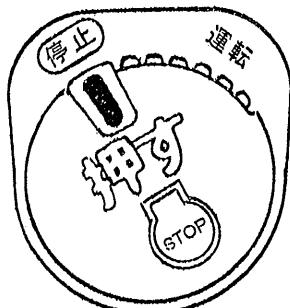


- このスイッチはエンジン停止スイッチも兼ねています。通常のエンジンの「運転」「停止」に使用します。

・操作

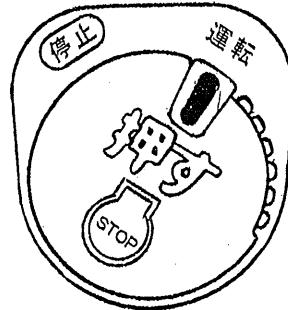
①、停止

ボタンを押すと、ボタンが左に回って（反時計回り）「停止」の位置になりエンジンの回転が止まります。



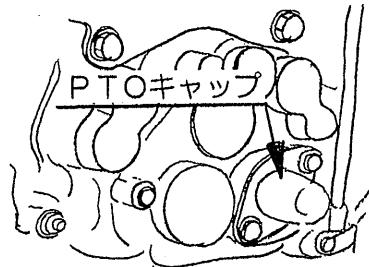
②、運転

ボタンを押込みロックを外し、そのまま止まる所まで右に回し（時計回り）引き上げるようにして手を放すと「運転」の位置でロックされます。



6、PTOキャップの取付

ロータリ等の作業機を取り外した状態でご使用になる時は、PTO軸が回転しているので大変危険です。安全のため必ずPTOキャップを取り付けてからご使用下さい。



7、長期格納の仕方

- ①汚れを綺麗に水洗いし、泥やゴミ等を取り除き乾いた布で拭き取って下さい。
- ②塗装の剥げた所は補修塗装し鏽やすい所にはグリースかオイルを塗って下さい。
- ③エンジンオイル、ミッションオイルが汚れている場合は新しいオイルに交換してください。
- ④故障、破損している部分は修理しておいてください。

仕様・諸元

諸元		型式	KK6	KK7
機体寸法	全長 (mm)		1600	
	全幅 (mm)		640	
	全高 (mm)		1060	
	重量 (kg)	74		80
エンジン	型式	GM182LN	GM232LN	
	排気量 (cc)	181		215
	連続定格出力 (PS/rpm)	4.5/1800	5.0/1800	
	最大出力 (PS)	6.3		7.3
	エアクリーナ方式	マン式オイルバス		
	始動方式	リコイルスタータ式		
	点火方式	無接点式マグネット点火		
	燃料・タンク容量 (l)	自動車用レギュラーガソリン 3.5		
	潤滑油容量 (l)	0.7		0.9
走行部	車軸径・形状	外径φ28丸軸		
	車軸管	外径φ39.5×226		
	車輪	タイヤ4.00-7		
伝導部	主クラッチ	ベルトテンション		
	エンジン→1軸	VベルトSB38×1	VベルトSA39×2	
	1軸→車軸	ギヤ、チェン		
	変速段数	前進4段、後進2段(副変速含)		
走行速度	前進	1速 副変速 低速	0.25m/s (0.89Km/h)	
		2速 高速	0.47m/s (1.68Km/h)	
		3速	0.65m/s (2.33Km/h)	
		4速	1.64m/s (5.90Km/h)	
	後進	副変速 低速	0.23m/s (0.82Km/h)	
		高速	0.43m/s (1.56Km/h)	
	P TO	軸形状	φ17インボリュートスライン	
		回転数 (rpm)	798	

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番 222950000510005

製品のご相談は下記の販売店へ



関東農機株式会社

本社工場／本社営業所 〒323-0819 栃木県小山市横倉新田 493

TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627

鏡石工場／福島営業所 〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石字大町 57

TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133

盛岡工場／東北営業所 〒028-4132 岩手県岩手郡玉山村渋民 20-55

TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119

西日本 営業所 〒561-0804 大阪府豊中市勝部3-3-8

TEL 06(6862)6858(代) FAX 06(6862)6861

九州 営業所 〒866-0813 熊本県八代市上片町1351

TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760